

ネットストーカーについて

皆さんは、「LINE(ライン)」「Instagram(インスタグラム)」「Twitter(ツイッター)」などのSNSを使ったことはありますか？最近では電話やメールではなく、上記にあげたSNSを使用して家族や友だちと連絡を取り合う事が一般的になってきました。SNSは身近な人とだけでなく、世界中の人とやり取りができるもので、便利な半面、以下のような問題も増えています。

SNSの投稿がきっかけで、ストーカー被害に

Aさんは、自分の近況などを毎日SNSに投稿し、すべての人に公開していました。自分の投稿や写真を見た人たちから寄せられるコメントやメッセージを見ることが、Aさんの楽しみでした。

ある日、Aさんの元に見知らぬ人から「付き合ってください」とメッセージが届きました。Aさんは、そのメッセージをしばらく無視していましたが、何度もしつこくメッセージが送られてくるため、「もうメッセージを送らないでください」と返信しました。

すると、次の日から「あなたの住所を特定した」という内容のメッセージや、Aさんを脅すようなメッセージが大量に送られてくるようになり、Aさんを誹謗中傷※1するような投稿もされるようになりました。

怖くなってしまったAさんはすぐにSNSのアカウントを削除し、脅える日々を過ごすことになってしまいました。

※1誹謗中傷：根拠のない悪口を言いふらして、他人を傷つけること



上記の事例のように、SNSがきっかけでストーカー被害にあうケースが増えています。「SNS上にあげた写真を見た人からしつこくメッセージが送られてくる」「SNS上で知り合った人から会おうと言われ、断ると何度も誹謗中傷される」などインターネット上で被害にあうこともあります。SNSに投稿した内容などから個人情報漏れ、実際に自宅にまで押しかけられたり後をつけまわされるといったように、実世界のストーカー行為にまでエスカレートすることもあります。

そういったストーカー被害にあわないように、SNS上に投稿する際には、以下に気を付けて投稿しましょう。

・プロフィールに個人を特定されるような情報を書いていないか？

- × プロフィールに住んでいる地域を書いている
- × プロフィールに通っている学校や学年、年齢を書いている
- × プロフィールに制服を着た自分の写真を設定している など

・投稿内容から個人を特定されるような情報を書いていないか？

- × 「今日は学祭」「来週から京都に修学旅行」など学校ホームページで確認できることを書いた
- × 「土曜に〇〇校に勝てればベスト4」など地域の大会について書いた
- × 制服で遊んでいる写真をあげた など

・投稿写真に場所がわかる目印になるものが映り込んでいないか？

- × バス停や、その場所にしかないもの（地域限定のマンホールなど）が映り込んでいる
- × 住んでいる場所近くのコンビニ、自動販売機などが映り込んでいる など